

地区別区長会での説明について

住民の公共交通に対する意識醸成を図ることや、住民から意見を聴取し、今後の検討の参考とするために、本町の公共交通の現状と新たな公共交通システムの導入（案）について、各地区の区長会で説明を行った。なお、開催スケジュール及び主な意見は以下のとおりである。

▼地区別区長会 開催日程

令和3年 10月8日西能勢地区 10月10日東郷地区 10月16日歌垣地区 10月23日田尻地区

▼主な意見まとめ（西能勢区長会、東郷地区、歌垣地区、田尻地区）

①新しい交通システムについて

地区	主な意見	
西地区	岐 尼	停留所は公民館を中心に設置することだが、地区で一つだけになるのか。 停留所（目的地）は町が決めるのか。子どもの習い事の送迎などにも利用できれば良い。
	久 佐 々	行きと帰りがセットで予約出来れば良い。行きは路線バス、帰りに乗合タクシーを利用できれば、利便性が上がる。
		路線バスが運行している地域は、乗合タクシーの対象外というのは同じ町民として不公平ではないか。
		宿野からノセボックスまで買い物に行く場合は、途中で路線バスに乗り継がないといけいないのか。 保健センターから宿野北方面まで乗合タクシーを利用できるのか。
東地区	歌 垣	東地域は路線バスが運行しているから導入しないとのことだが、導入の目的の一つに町内の買い物等の日常利用が想定されている。バスで東から町内の買い物（ノセボックス）に行けないが不公平ではないか。 導入しても、利用は見込めないのではないか。利用者となり得る高齢者は、免許を返納する時には、町外の施設に入るケースが多く、結局公共交通を利用しないのでは。
	田 尻	試験的に乗合タクシーを運行することは良いことだと思うが、東地域が対象から外れることについて、地元住民から反発が予想される。
	田 尻	帰りの運行や予約が重なった時はどうなるのか。交通手段が複数ある（公共交通空白地有償運送、ボランティア輸送、乗合タクシー）と、高齢者などは選択するのが難しいのではないか。 今後の住民への周知の予定は。

②路線バスについて

地区	主な意見	
東地区	歌 垣	将来的には路線バスは無くなる想定か。妙見口能勢線は特に利用者が少なく、赤字は当然だと認識。乗合タクシーと路線バスの費用を比べて、どちらが効率的かを検討していくことになる。 バス補助金が今後も減ることはない。一度、路線バスを廃止すれば、交通事業者との競合もなく、交通ネットワークを構築しやすいのではないか。妙見口能勢線はほとんど利用者がなく、大きな車両は必要ない。 路線バスの撤退も含めて、誰でも利用できる公共交通を目指したらよいと思う。
	東 郷	妙見口能勢線について、利用者は少ないが、住民としては何とか維持してほしい。 娘が通勤で路線バスを利用している。妙見口能勢線について、利用者は少ないが、無くすと困る人がいるので運行を続けてほしい。土日運休となり、ハイカーなど観光客の移動手段の確保が必要ではないか。

③スクールバスの活用について

地区	主な意見	
東地区	歌 垣	スクールバスの活用はできないか。車両10台は多すぎる。
	東 郷	スクールバスの活用（間合い利用）はできないか。休日の部活便の活用ができれば、妙見口能勢線の休日運休のカバーができるのではないか。

④その他（助け合い交通等）について

地区	主な意見	
東地区	歌 垣	地域で移動手段を確保しないとイケない。地区で軽のワンボックスカーを貸与してくれればよいのでは。 田尻おお杉の会は参考になる。通勤通学利用者にはタクシーチケットの購入補助も考えられるのでは。 東地域で、助け合い交通について地元から声が上がるとは考えにくい。